

肝付町今後の学校の在り方について（骨子）

肝付町今後の学校の在り方検討委員会

1. 現状と課題について

(1) 児童生徒数の減少

鹿児島県が公表した令和5年10月1日現在の「県推計人口及び人口動態」によると、鹿児島県全体で肝付町の推計人口に相当する人数が1年間で減少している。【参考1】

肝付町の児童生徒の数も減少傾向にあり、令和5年12月1日現在995人の児童生徒数は、1歳児が小学校の新1年生となる令和11年度には786人となることが予想される。【参考2・3】

【参考1】県推計人口及び人口動態（市町村別）－令和5年10月1日現在－鹿児島県総合政策局統計課

	世帯数	推計人口				人口動態						対前月増減数	対前年増減数
		男	女	計	外国人	自然動態			社会動態				
						出生	死亡	増減	転入	転出	増減		
県全体	731,515	731,910	816,774	1,548,684	14,486	854	1,858	-1,004	1,946	1,716	230	-774	-14,440
肝付町	5,985	6,602	6,722	13,324	74	1	20	-19	24	26	-2	-21	-288

【参考2】児童数の推移（令和5年12月1日現在）

学校名／年度	5	6	7	8	9	10	11
内之浦小学校	50	44 (-6)	39 (-11)	39 (-11)	32 (-18)	31 (-19)	31 (-19)
国見小学校	56	54 (-2)	44 (-12)	39 (-17)	35 (-21)	23 (-33)	19 (-37)
高山小学校	464	444 (-20)	415 (-49)	404 (-60)	383 (-81)	353 (-111)	342 (-122)
波野小学校	23	22 (-1)	19 (-4)	14 (-9)	12 (-11)	11 (-12)	9 (-14)
宮富小学校	53	55 (2)	61 (8)	66 (13)	73 (20)	72 (19)	59 (6)
岸良学園	13	11 (-2)	7 (-6)	8 (-5)	8 (-5)	7 (-6)	5 (-8)
計	659	630 (-29)	585 (-74)	570 (-89)	543 (-116)	497 (-162)	465 (-194)

() 内は令和5年度の児童数との比較を表す。

【参考3】生徒数の推移（令和5年12月1日現在）

学校名／年度	5	6	7	8	9	10	11
内之浦中学校	31	34 (3)	34 (3)	26 (-5)	25 (-6)	23 (-8)	24 (-7)
国見中学校	33	30 (-3)	29 (-4)	27 (-6)	31 (-2)	32 (-1)	29 (-4)
高山中学校	231	251 (20)	269 (38)	260 (29)	256 (25)	244 (13)	257 (26)
波野中学校	34	19 (-15)	15 (-19)	15 (-19)	17 (-17)	12 (-22)	6 (-28)
岸良学園	7	8 (1)	10 (3)	8 (1)	4 (-3)	3 (-4)	5 (-2)
計	336	342 (6)	357 (21)	336 (0)	333 (-3)	314 (-22)	321 (-15)

() 内は令和5年度の生徒数との比較を表す。

（2）小・中学校（義務教育学校を含む。以下同じ。）の小規模化

小規模校では、一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でききめ細かな指導が行いやすいなどのメリットもある一方で、複式指導や強化外指導などの課題を抱えながら、学校運営が行われている。

①小学校における複式指導【参考4】

- ・教員は、直接指導と間接指導を組み合わせ、複数の学年を行き来しながら指導することになるが、長時間の直接指導（実験・観察など）が必要となる活動に制限が生じ、特別な指導技術が求められる。
- ・兄弟姉妹が同じ学級となる場合、指導上の制限が生じる可能性がある。

②中学校における教科外指導等

- ・経験年数、専門性などバランスの取れた教員配置やそれを活かした指導の充実が難しく、免許外指導の教科が生まれる可能性がある。【参考5】
- ・部活動の部員や指導者の確保が難しい。【参考6】

【参考4】学級数（特別支援学級を除く。）の推移

学校名／年度	5	6	7	8	9	10	11
内之浦小学校	5	5	4	5	4	4	4
国見小学校	6	6	5	4	5	3	3
高山小学校	17	17	16	15	14	13	12
波野小学校	3	3	3	3	3	3	3
宮富小学校	4	5	5	6	6	6	6
岸良学園	2	2	2	2	2	2	2

（注意）特別支援学級の設置状況によっては学級数に変動があります。

【参考5】教科外指導の状況（令和5年度）

学校名／教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	外国語
内之浦中学校	○	○	○	○	○	△	○		△	○
国見中学校	○	○	○	○	○		○			○
高山中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
波野中学校	○	○	○	○	○		○		△	○
岸良学園	○	○		○	○		○			○

○：常勤、△：非常勤、空欄：教科外指導

【参考6】部活動の状況（令和5年度）

学校名 ／競技名等	空手道	剣道	サッカー	柔道	ソフトテニス	バスケットボール	バレーボール	野球	陸上	吹奏楽
内之浦中学校			△				●			
国見中学校							◎	●		
高山中学校	○	○		○	○	○	○	●	○	○
波野中学校								●	○	
岸良学園					○					

○：活動中、●：活動中（合同チーム）、◎：地域移行済み、△：休部中

2. 今後の在り方について

（1）基本的考え方

①望ましい学校規模

- ・
- ・

【参考】学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）抜粋

第四十一条 小学校の学級数は、十二学級以上十八学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

第七十九条 第四十一条から第四十九条まで、第五十条第二項、第五十四条から第六十八条までの規定は、中学校に準用する。（略）

第七十九条の三 義務教育学校の学級数は、十八学級以上二十七学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

②望ましい通学距離

- ・
- ・

【参考】義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（昭和三十二年政令第百八十九号）抜粋

（適正な学校規模の条件）

第四条 法第三条第一項第四号の適正な規模の条件は、次に掲げるものとする。

- 一 学級数が、小学校及び中学校にあつてはおおむね十二学級から十八学級まで、義務教育学校にあつてはおおむね十八学級から二十七学級までであること。
- 二 通学距離が、小学校にあつてはおおむね四キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね六キロメートル以内であること。

（2）学校規模の適正化に向けて配慮すべきこと

①スケジュール

- ・
- ・

②地域と学校との関係

- ・
- ・